

# 第2弾！重度身体障害当事者が語る —「良かれと思って」の暴力性—



2022/4/19(火) 19:00—

周りの人の「良かれと思って」  
によって、障害のある人が  
生きづらくなるというのは  
どういうことでしょうか？

当事者の立場から  
障害者の支援に携わる方に望む  
ことをお話をさせていただきます。

## 油田 優衣 (ゆだ ゆい) さん

1997年生まれ。全身の筋力が次第に衰えていくSMA(脊髄性筋萎縮症)II型の当事者。  
ほぼ全ての日常生活動作に介助が必要で、現在は間欠的に呼吸補助装置も利用している。  
中学までは特別支援学校に通い、高校からは普通学校へ進学。2016年の京都大学進学を機に、実家の福岡を離れ、  
24時間の公的な介助サービス(重度訪問介護)を使いながらの一人暮らしを始めた。  
現在は京都大学大学院教育学研究科修士課程に在学中。  
2021年11月 NHK Eテレ「バリバラ」出演  
2022年1月20日(木)～ 隔週で朝日新聞 京都版コラム「四季つれづれ」に連載

※申し込み要、参加費無料

参加時には、マイクをミュートにしてください。

右記のQRコードから申し込みをよろしくお願いたします。

URL： <https://forms.gle/kadP6fowP6aZe6SS8>

申し込み締め切り：4月17日

\* 締め切り以降は以下のメールアドレスにメールを頂ければ対応致します。

主催：京大ウエルネス研究会

お問い合わせ： [wellness.kyoto.univ@gmail.com](mailto:wellness.kyoto.univ@gmail.com)



申し込みフォーム